ソーシャルキャピタルのジェンダーギャップの克服と地域防災力の向上

おじさん活用術研究会

私達が解決したい課題

「高齢男性が地域コミュニティに溶け込めず孤立してしまう状態」

私達の考えるおじさん活用術

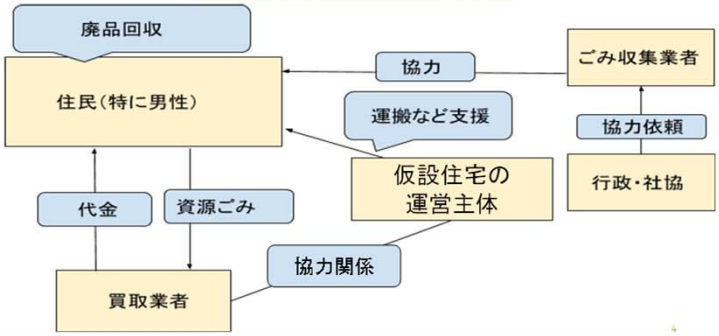
一言でいうと！

「地域住民みんなで定期的に廃品回収をやろう！
@益城テクノ仮設団地」

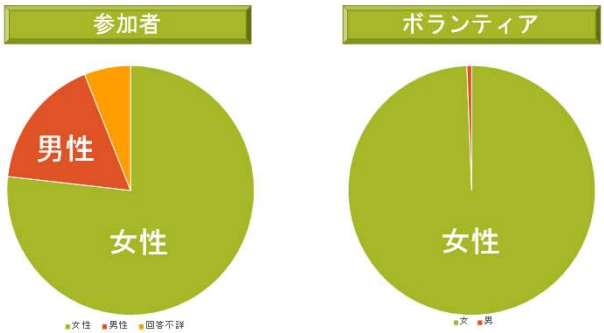
Point

①高齢者男性と地域とのつながりづくり
②収益は地域へ還元し、さらにコミュニティ活性化
③高い参加率と継続性が見込める

政策の仕組み図



課題の発見①
～ふれあいサロン調査から気付いた男女差～



課題の発見②
～震災時のデータから読み取るソーシャルキャピタルの男女差～

東日本大震災死者構成比対人口構成比（倍）

	9歳以下	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80差代
男性	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	0.9	1.4	2.3	3.3
女性	0.4	0.3	0.3	0.4	0.6	0.9	1.3	2.0	3.0

災害後にはソーシャル・キャピタルの男女差が顕著に表れる

東日本大震災では…

【孤独死数】
男性１４２名　女性５５名

→男性の孤独死は女性の２.６倍となっており、男性の方が圧倒的に多い

（岩手、宮城、福島３県の被災者が入居するプレハブ仮設住宅と災害公営住宅を対象とした調査）

熊本地震では…

団地の集会所に集う女性たちの姿
「夫が外に出たがらず、１日中家にいる」
「夫を外に連れ出そうとするがなかなかうまくいかない」等の声が聞かれた

黒髪4町内自主防災クラブへの取材

まとめ

・退職後の男性は、一気にネットワークが狭まってしまい地域のコミュニティに溶け込めない現状

・結果として災害時には男性の方がソーシャルキャピタルの効用を受けづらくなっている

・男女差なく地域コミュニティを築いていく必要がある
・地域のつながりが特に薄い仮設住宅で廃品回収を行うことで、男性に義務感を持たせて家から出てきてもらう

・収益は地域へ還元し、地域コミュニティの強化につながる

熊本大学法学部　伊藤洋典研究室
池崎　日南子・金城　幸作・内田　暉・小宮　唯・瀬戸　紀之